

豪雨災害対応ガイドブックで 取るべき対応を確認しましょう

過去の水害を教訓に、豪雨時に取るべき行動指針を掲載しています。



三条市豪雨災害対応
ガイドブック



ガイドブックでこれが分かる 防災対策3つのポイント

① 自分や家族の避難方法・避難場所

豪雨時、避難所に行くべきか
自宅にとどまるべきか確認しておきましょう。



気づきマップ
(ガイドブック7ページ)

信濃川、五十嵐川、刈谷田川が決壊したときに、どのような洪水の危険性があるのかが分かります。



逃げどきマップの
判定フロー
(ガイドブック10ページ)

建物の構造や場所から、豪雨時の避難のタイミングや行動指針が分かります。



逃げどきマップ
(ガイドブック11ページ)

信濃川、五十嵐川、刈谷田川が決壊したときの浸水の深さや浸水が到達するまでの時間が分かります。

② 災害時にされる避難情報

市は積極的に避難情報などを発表します。避難などの命を守る対応を判断し、決断できるのは自分自身です。



緊急度	避難情報	状況	取るべき行動
低	高齢者等避難	災害のおそれがある	高齢者など、避難に時間がかかる人は避難してください。それ以外の人は避難の準備や自主避難をしてください。
中	避難指示	災害のおそれが高い	避難所や安全な建物の2階などに避難してください。
高	緊急安全確保	災害が切迫しているか、発生している	すぐに避難行動を完了してください。まだ避難していないときは、安全な建物の2階に避難するなど、生命を守る最低限の行動をとってください。

③ 災害時の情報収集手段

(登録方法などは本紙表紙をご覧ください。)



三条市LINE
公式アカウント



その他

・防災行政無線 ・市ホームページ ・緊急速報メール ・ラジオ



三条市X

・自動電話応答サービス

35-2600に電話すると、防災行政無線の放送内容を確認できます。

・高齢者向け固定電話への避難情報配信サービス

避難情報を発令したら、電話をして伝えます。*行政課☎34-5517に申し込みください。



メール配信
サービス

・アプリ



燕三条エフエム放送
(コミュニティFM)



エヌ・シー・ティ
(ケーブルテレビ)



特集



7・13水害から20年
大切な命を守るために、
今、できること

当時を知らない世代が増える中、水害の教訓を後世に伝え、災害による被害を最小限にするため、私たち一人一人にできることは何でしょう。自然災害は、決して他人ごとではありません。「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。災害のとき、どう行動するか判断するのは「あなた」です。「自分の命は自分で守る」という原点に立ち返り、いざというときに命を守る行動を平時から確認しておくことが大切です。

行政課

☎34-5517